

団塊シニア世代!! セカンドデビューのすすめ

Vol.

7

2013.11

ながさき

ダンカーズ

★★★★★★★★ Baby-boom generation! Recommendation of the second debut.



長崎さるくボランティア団体・ながさき双六の会の皆さん

特集

長崎さるくボランティア団体
ながさき双六の会

さあ、サイコロ振って長崎市から双六のスタート。
夢のゴールは“双六の会発全国区イベントの開催”!

- まちなかダンカーズ/「ペコロス」こと漫画家 岡野雄一さん
- ダンカーズしよっと/山口俊明さん、山口美智子さん

読者アンケートにみるダンカーズセカンドデビューDATA考

秋の講座・イベントに参加しよう!

ダンカーズチョイス

- ・ 2014年長崎かんばらんば団体運営ボランティア募集!! (国体推進部総務企画課 (長崎かんばらんば国体長崎市実行委員会) がレジャー市2014～あなたにもできる国際協力～学生国際NGO BOAT)
- ・ 2013「自分新化講座」長崎伝習所事務局 (市民活動センター内) ～ぬくもりを届けたい手から心へ～ もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会
- ・ 長崎市 ながさき美り・恵みの感謝祭2013 ながさきの食推進室
- ・ 高齢者いきいきカード 長崎市高齢者すこやか支援課
- ・ ながさき共感寄付 ながさき共感寄付事務局

さあ、サイコロ振って長崎市から双六のスタート。
夢のゴールは“双六の会発全国区イベントの開催”です!



長崎さるくボランティア団体

ながさき双六の会



年一回の「まちあるき 双六大会」を開催



▲前回開催されたイベントの様子

「長崎のまちの魅力を自分たちの手で伝えたい」。そんな思いで活動しているのが「ながさき双六の会」。長崎さるく博'06(平成18年開催)のプレイベントに参加したさるくガイドが中心となって結成された団体だ。現在22人の会員で構成されている。主な活動は、毎年11月の第2日曜日に開催される「まちあるき双六大会」の実施。内容は、長崎のまちを大きな双六盤に見立てて、さまざまな観光スポットを歩いて

回るというもの。約千人が参加するこの一日のために、一年間かけて打ち合わせを重ね、準備を行っているという。

会の中核を担うのは団塊シニア世代のみなさん!

そんな「ながさき双六の会」の中核を担い、活動に貢献しているのが、経験豊かな団塊シニア世代のみなさんだ。しかし、メンバーが一律に口をそろえるのは、参加してみて「こんなに大変だとは思わなかった!」という一言。それでも毎年活動を続けているみなさん。そこで、「準備や大会の主催は大変でも、

それ以上のやりがいがあるので続けたい!」と思わせる会の「魅力」とは何か、話を聞いてみることにした。

まずは会のまとめ役で、歴史好きの池田安代会長(63歳)。独身時代は警察署の交通巡視員で、現在も会社勤めを続ける現役だ。入会の動機は「そろそろ何か違うことを見つけたらという思いがあったこと」で、'06年にさるくガイドに応募し、そのまま会の立ち上げに参加したという。「やりがいは、いろんな人と知り合えること。生涯学習だと思つてやっている。苦労するのは、何といても人をまとめることですね」と池田会長。好きな言葉は「負けて勝つ」。「いっぱい間違つても構わない。でも逃げないこと。恥をかいて人間は成長しますから」。彼女の経験から出る金言は、女性会長として会と人をまとめる「極意」を教えてくれる。

お次は事務局長の坂口豊さん(68歳)。会議の段取りや進行状況の把握、ボランティア団体との対外交渉などを引き受けている。現役時代は国立大学の職員。入会のきっかけは、ボランティアの全体会議で誘われたこと。「おもしろいからお手伝いしました」と参加したのが運の尽きです」と苦笑いする。「週一回の打ち合わせや大会の準備は大変だけど、1年間やり終えた瞬間の喜びがやりがいですね。終わつたあとはもうやりたくないと思うが、また続けています」。事務局長とし

長崎さるくボランティア団体 **ながさき双六の会**

今後の予定

第7回まちあるき双六大会
 テーマ/和華蘭まち長崎～ながさきの詩歌に出会おう～
 開催日/11月10日(日)
 集合場所/中央公園(賑町)
 受付/8:30～9:00(終了予定13:00)
 参加費/1人300円(小学生以上・当日徴収)

お問い合わせは下記メールアドレスか
 ホームページへお願いします。
nagasaki_sugoroku@yahoo.co.jp
<http://nagasaki-sugoroku.jimdo.com>



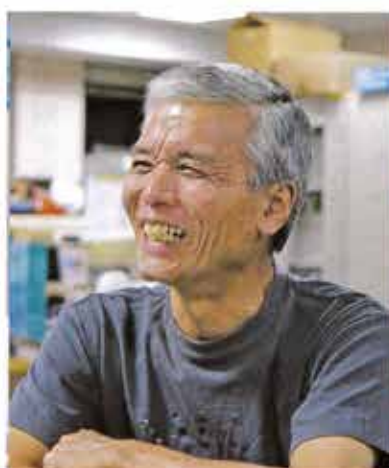
▲第6回まちあるき双六大会であいさつする池田会長



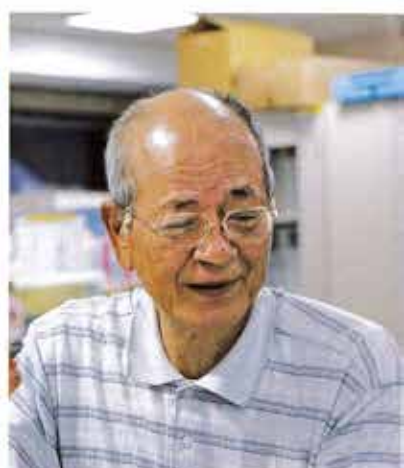
会長 池田安代さん



猿渡スミヨさん



武次和正さん



事務局長 坂口豊さん

う明快な答えが返ってきた。
 猿渡スミヨさんは、現役時代に警察署の少年補導員や交番相談員の勤務経験を持つ。会では記録係として、毎回パソコンで議事録の入力作業をしている。「議事録をまとめるのは大変。自分で書いたメモ書きが読めなくて苦労することもあります。活動がこんなに大変だとは思わなかった」と猿渡さん。双六大会について、「年間を通しての大会の準備は大変だけど、みなさんが参加してくださって、おもしろがつて、楽しかったと言ってくれることが、関わった一員としてうれしですしやりがいですね」と笑顔で話してくれました。

て心がけていることは大会が無事に終わることと、ひとりのけが人も出ないようにすること。それに「最後にみんな一杯飲むのが楽しみです」とにっこり。
 現役時代は三菱重工長崎に勤務した武次和正さん(66歳)。4年前に入会し、道具班を担当している。「ゲームで使う竹馬や紙相撲の力士などを作ったり、会場設営などを行ったりしています。仲間がワイワイ和気あいあいとやれるのがいいですね」と楽しそうに話してくれた。同じ団塊シニア世代へのエールをお願いすると、「100%の力を出さなくていい。できる範囲でいいからボランティア活動に参加してほしい。仲間になってほしいですね」とい

「双六の会と言えば長崎、長崎と言えば双六の会」が夢

「双六大会は10回を一区切り。それをクリアしたい。その間に若い世代を育てたい。パトタッチして私達は一歩下がって後輩を見守りたい。そういう環境を作りたいですね」。今後の会のビジョンを池田会長はこう描いている。「私の夢は、双六の会の活動を長崎市周辺から県内に広げ、いずれは全国区に広げたいということ。《双六の会》と言えば長崎、長崎と言えば双六の会。そうになったらいいなと思います」と猿渡さんが続けてくれた。

長崎観光の魅力を手作りイベントで発信する「ながさき双六の会」。団塊シニア世代メンバーの進める駒は、それぞれの経験を生かしながらサイコロを上手に転がして、少しずつ「全国区」という夢のゴールへと進んでいるようだ。



▲ゆるキャラのコロリン(左)とコロロン



キャリアに裏打ちされた自費出版本が注目を浴びる
身边雑記の漫画から奇跡のストーリーは生まれた！

「ペコロス」こと漫画家 岡野雄一さん

おかの・ゆういちさん
(63歳)

「タウン誌時代は、毎号校了した自分への褒美に1ページを自由に使って、身边雑記漫画を描いていた」と話す岡野さん。自身の作品の映画化について、「完成した映画がとても良かったのでうれしかった。応援しようという気持ちになった」と語ってくれた。



「注目を浴びていると言われても、実感のなかとさね」。笑いながらこう語るのは、長崎市在住の漫画家岡野雄一さん。自費出版した漫画本が全国的な話題となり、一躍時の人となった。認知症の母の介護を中心に扱ったその原作本は、奇跡のストーリーを生み続けている。

岡野さんは9年前に編集長を務めていたタウン誌編集部を休刊のために辞めた後、母親が脳梗塞で倒れたのと同じ時に「女房に相談して」フリーの漫画家に転身したという。それから病院の広報誌やタウン誌などに身边雑記の漫画を描き連載するようになった。

そんな岡野さんに転機が訪れたのは4年前。知り合いでデザイナーの喫茶店店主から「これまで描いたものをまとめて一冊の本にして個展をやらうよ」と勧められ「ペコロスの玉手箱」を自費出版した。この時は「読者の泣き笑いを見て、出版してよかった」と心の底からそう思ったという。

ところが、2011年に東日本大震災が発生し、半年くらい漫画が描けなくなってしまう。その時にも心配した喫

茶店店主が「2回目の個展をやらうよ」と声をかけてくれた。それで自費出版したのが「ペコロスの母に会いに行く」だった。この本は地元元の書店で爆発的な売れ行きを記録する。岡野さん自身は「一冊目より地味な本が売れたのは、大震災以降、時代の雰囲気が変わったことと、日本は介護や認知症が切実な国になったこと」と分析。「母の認知症のエピソードをおもしろく漫画に描くことで、気分がまぎれることもあった」と語ってくれた。

その「ペコロスの母に会いに行く」出版からわずか2カ月の間に奇跡のストーリーは進行した。Facebookで友達になった知人の仲介で映画化が決定。西日本新聞社から再編された単行本の出版も決まったという。

一見団塊の世代に入り突然開花したように見える岡野さんの人生。しかし、ご本人が「実感のなかとさね」という漫画本のヒットも、専門学校でデザイン



を学んだこと、東京の出版社で漫画雑誌を担当したことなど、これまで岡野さんが歩んできたキャリアに裏打ちされた実力があってこそ実現したものなのだろう。

データ

岡野雄一オフィシャルウェブサイト
<http://pecoross.6.q1.bz>

映画「ペコロスの母に会いに行く」
11月9日より長崎先行公開
公式サイト <http://pecoross.jp>
「ペコロスの母に会いに行く」は2012年度第42回日本漫画家協会賞優秀賞受賞※ペコロスとは小型の「たまねぎ」のこと。ご自身の容貌を表現し名乗っている。

「まちなかダンカーズ」とはセカンドデビューの「きっかけづくり」を応援している団塊世代を紹介するコーナーです。



元気な団塊シニア世代の合言葉 「ダンカーズしよっと？」

創刊号から第6号までのアンケートを集計しました。
「ながさきダンカーズ」をどこで入手しましたか？

四季の移ろいを五感で満喫 先祖が愛した町で過ごす贅沢な時間

山口俊明さん

(61歳)



私は旅行作家をしており、長崎に来るまでは国の内外を飛び回る忙しい毎日でした。現在は「のんびり暮らすこと」をモットーにはしていますが、芝生の手入れや家庭菜園の世話で、一日があっという間に過ぎていきます。

長崎は物価は意外と高いですが、お金をかけなくても出来る楽しみが多く、セカンドライフに適した魅力的な土地ですね。私の、お金のかからない趣味の1つにサイクリングがあります。長崎で「趣味が自転車」というと皆さん驚かれるのですが、オーダーメイドで組み立ててくれる自転車屋さんもありますし、坂の町のサイクリングも楽しいものですよ。

私は佐賀県唐津の生まれですが、かつて曾祖母が長崎市大浦14番地で「アルハンブラ・アメリカンホテル」を営んでいました。後を継いだ大叔母・ルイザも、松が枝町40番館に移転した同名のホテルを営み、私も幼少期の数年をその洋館で過ごしました。私にとって長崎は深い縁で結ばれた町であり、(いつか長崎で暮らそう)との思いを、1年前に実現することができました。スタートしたばかりの長崎暮らし。これからの展開が楽しみです。

私から若者へ、そして小さな子どもたちへ 広げたい「和」の国際化

山口美智子さん

(58歳)



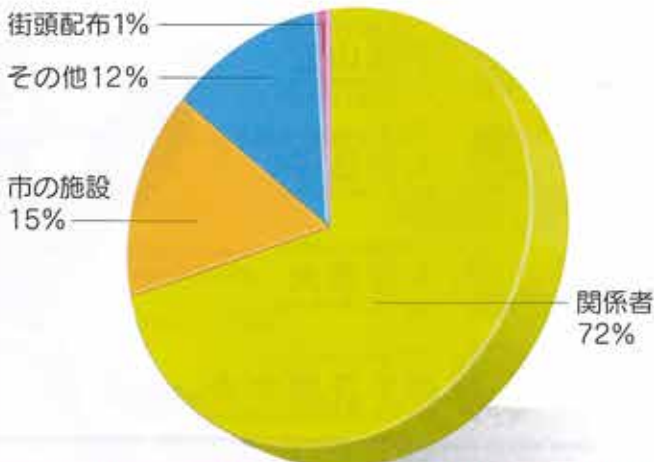
現在は食育セミナーなどでテーブルマナーの講師をしています。以前はテーブルコーディネーターの仕事をしていました。ヨーロッパで生まれたテーブルコーディネートの奥深さに感銘を受けることが多かったのですが、夫の転勤に伴って暮らしたアメリカでの、気取らず、それでいて相手に対する敬意を忘れないおもてなしにも、とても感動しました。不思議なことに、このふたつの西洋のスタイルは、私に日本の文化の深さや礼儀や作法の素晴らしさを再確認させてくれました。そして、和と洋のバランスのとれたおもてなしを提供できるようにになりたいという、具体的な目標を持つようになりました。

私のモットーは「いつからでも学ぶことができる。そして学びはエンドレス」。帰国後はカフェの運営の機会を与えていただき、おもてなしの基礎である接遇の勉強をすることができました。また、最近になり着物と茶道、香道の勉強を始めました。いろいろな世代の方との交流を目指し、「和」と「洋」の良さを活かしたおもてなしの心…これからの私の役目は、心を形で示すマナーの継承だと思っています。

読者アンケートにみるダンカーズセカンドデビューDATA考

「ながさきダンカーズ」をどこで入手しましたか？

断トツで多かった入手の方法は「関係者」からでした。現在、「ながさきダンカーズ」は3,000部発行をしています。そのうち1,500部は長崎市が配布、半分の1,500部は「新現役の会長崎センター」のネットワークを使い、お互いの強みと持ち味を発揮して団塊シニア世代の読者へ届けています。



「ながさきダンカーズ」はどこにあったら便利ですか？

配布(設置)場所の要望が多かったベスト5は、

- 👑 コンビニ
- 👑 スーパー
- 👑 郵便局
- ④ 病院待合室
- ⑤ 書店、駅



です。その他、商業施設、銀行、ふれあいセンター、スポーツセンター、たばこ屋さんにあったら便利との要望がありました。

もっと多くの団塊シニア世代読者へ「ながさきダンカーズ」を届けたい。「ながさきダンカーズ」を配布していただく場所、お店、団体や企業を募集しています。

長崎市配布場所...行政窓口(支所、行政センター、公民館)、情報ラック(市役所市民課待合、ランタナ、市立図書館、市民会館、アマランス)ほか

2014年長崎がんばらんば国体 運営ボランティア募集!!



テニス競技リハーサル大会におけるボランティア活動の様子



いよいよ来年10月、11月に長崎が
んばらんば国体・長崎がんばらん
ば大会が開催されます。長崎市実
行委員会では長崎がんばらんば国体
において、市内で開催される競技の運営をお手伝い
していただける「運営ボランティア」を募集しています。
主な活動は受付・会場案内、ドリンクサービス、弁当配
布、環境美化などです。
50年に1度の国体に、思い出作りとして参加してみませんか？

長崎市国体推進部総務企画課(長崎がんばらんば国体長崎市実行委員会)
[お問い合わせ] TEL.095-829-1280

カレンダー市2014～あなたにもできる国際協力～

今回で7回目となるこのカレンダー市は、長崎大学の学生
で立ち上げたサークルである学生国際NGO BOAT主催で
行われます。カレンダー市とは、全国から寄付されたカレ
ンダーを集めて販売し、その収益金を寄付するという身近
な国際協力を目指した活動です。

お時間がありましたら、ぜひ足を運んでみてください。
お待ちしております。

開催期間: 2014年1月17日(金)～19日(日)
時 間: 10:00～16:00
会 場: 出島交流会館4階 会議室1・2
主 催: 学生国際NGO BOAT
共 催: (公財)長崎県国際交流協会、長崎「国際交流塾」、
東山手「地球館」



[お問い合わせ] 学生国際NGO BOAT
携帯番号 090-2088-6419

授業のため、電話に出られない場合があります。(電話受付時間:16:00～20:00)

第3回

[長崎伝習所] 特別講座

2013 杉田亮毅プロデュース編

自分新化講座

会場◎長崎ブリックホール 国際会議場(全席自由)
対象◎一般・学生(高校生・大学生)
聴講料◎当日券1,000円(学生500円)各回

[お問い合わせ] 長崎伝習所事務局
〒850-0022 長崎市馬町21-1
長崎市市民活動センター内
TEL.095-829-1125 FAX 095-829-2925
E-mail:denshusho@city.nagasaki.nagasaki.jp

- 第1回 9/20 19:00～21:00 **杉田亮毅** (終了しました)
(公社)日本経済研究センター代表理事・会長
- 第2回 10/14 15:00～17:00 **堺屋太一** (終了しました)
作家・経済評論家
- 第3回 11/20 19:00～21:00 **小宮山宏**
(株)三菱総合研究所理事長
プラチナ構想ネットワーク会長
- 第4回 12/19 19:00～21:00 **大田弘子**
政策研究大学院大学教授
平成26年
- 第5回 2/4 19:00～21:00 **大塚宣夫** 「オランダ人遠眼鏡」
長崎歴史文化博物館蔵
医療法人社団 蘭成会 会長
- 第6回 3/17 19:00～21:00 **御手洗富士夫**
キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長

※講演者・講演テーマ・日時については、やむを得ない理由で変更になることがありますので、ご了承ください。

日本のお手玉の会 長崎支部
もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会
～ぬくもりを届けたい手から心へ～

2014年 長崎がんばらんば国体 デモンストレーションとして
のスポーツお手玉競技のお知らせ

市民が参加する長崎がんばらんば国体

開催日:2014年10月19日(日)

時間:9:00受付

会場:長崎市立桜町小学校3階 体育館

「参加者募集」

参加人数:400人

小学生～高齢者

競技内容:団体戦(5人1チーム)・

個人戦



「ボランティア募集」

前日の会場設営(18日)

会場案内・受付・競技会補助委員

会場警備・救急看護・弁当配布など

その他協力団体:自治会・企業・NPO 他

《申し込みは、住所・電話・お名前を記入して下記へ。》

もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会

〒850-0022 長崎市馬町21-1 長崎市民活動センター ランタナ内
(担当/松尾・濱田)

[お問い合わせ・申し込み] TEL/FAX 095-829-3006

「県民市民みんなで盛り上げる長崎国体・出てみゅ〜で長崎国体」

ながさき実り・恵みの感謝祭2013

採れたて! 新鮮! ながさき生まれ!

会場には、ながさき自慢の“おいしいもの”が集結! 市内産の
カキをその場で味わえる「カキ焼きコーナー」や、外海地
区の「かんころ餅」などの郷土料理の販売を行う「ながさき
味わいの匠コーナー」など、食に関するブースが盛りだく
さん。長崎市の特産品が当たるお楽しみ抽選会など楽しいイ
ベントも!



開催日:11/23(祝)・24(日)

時間:10:00~17:00

場所:出島ワープ前

(水辺の森公園でも同時開催)

長崎市ながさきの食推進室

[お問い合わせ] TEL.095-820-6568

高齢者いきいきカード

市内の公共施設が無料で利用できる便利なカードです。
身分証明書をご持参ください。

対象:市内にお住まいの60歳以上の方

申込場所:高齢者すこやか支援課、行政センター、支所

無料入園(館)できる施設

- ・グラバー園
- ・原爆資料館
- ・シーボルト記念館
- ・野口彌太郎記念美術館
- ・べっ甲工芸館
- ・古写真資料館
- ・埋蔵資料館
- ・出島
- ・科学館
- ・旧香港上海銀行長崎支店記念館
- ・ペンギン水族館
- ・須賀五々道美術館
- ・永井隆記念館
- ・清水崑展示館
- ・伊王島海水浴場交流施設
- ・心田庵
- ・端島見学施設
- ・遠藤周作文学館
- ・亀山社中記念館
- ・ロープウェー(半額)
- ・老人福祉センター(6カ所)
- ・老人憩いの家(11カ所)

高齢者いきいきカード

(老人福祉カード)



長崎市民局福祉部
高齢者すこやか支援課
(095) 829-1146

長崎市高齢者すこやか支援課

[お問い合わせ] TEL.095-829-1146

ながさき ながさき初!

共感寄付

長崎のNPO活動を支える寄付の手助け!
新しいNPO応援プロジェクトがスタート!

「共感寄付」とは、
あなたの「共感」(寄付)と、
社会課題の解決に取り組む
NPO・市民活動団体みなさんとを結ぶ、
いわば資金の縁結びをする仕組みです。

詳しくは、「NPOながさき」
ホームページをご覧ください。
<http://npo-nagasaki.jp/>



ながさき共感寄付事務局 NPOながさき内

[お問い合わせ] TEL/FAX 095-826-1771

ながさき

セカンドデビュー

「第二の人生」を楽しく豊かに

ダンカーズ
創刊2周年記念企画

ダンカーズ・フェスタ

飛び出せ!! 団塊シニア世代

11/30 土 PM1:00~4:30

会場 長崎港松が枝国際ターミナルビルホール
(長崎市松が枝町7-16)

リタイア後の生活を楽しむ生き方や
地域参加についてみんなで語ろう!

入場
無料

PM1:00~

★ウエルカム・ミュージック★

●二胡・琴・チェロ生演奏

★市民活動PR・体験コーナー★

●活動PRチラシ配布

●写真パネル展示

●PRグッズ販売

●iPadを使って「あたまケア」体験

●折り紙遊び・お手玉体験

★ボランティア情報コーナー★

●ボランティア相談

●がんばらんば国体PR

★健康チェックコーナー★

●血管年齢測定 など



PM2:00~4:30

スペシャル・トークセッション

「団塊シニア世代 プラスワンの生き方」

NBCラジオパーソナリティ 平松誠四郎さん

ラジオの番組リスナーから寄せられた事例などを紹介。高齢社会での団塊シニア世代の役割や、第二の人生における「プラスワンの生き方」を、会場のみなさんと一緒に語りましょう!

★青春時代に還って歌おう!★

「団塊シニア世代の青春の歌」を
みんなで一緒に歌いましょう。



★ながさきの食 紹介コーナー★

MENU (予定)

*長崎和牛スライスステーキ

*バージンオリーブオイルの
テイasting など

「景品争奪!お楽しみ
ジャンケン大会」もあります。
ぜひ、お越しください!



毎朝3時
起き!

「NBC おはようラジオ」
平松誠四郎さん

長崎港松が枝国際ターミナル
徒歩入口

有料
駐車場
入口

長崎海上保安部

《主催》
長崎市・NPO 法人新現役の会長崎センター
《お問い合わせ》
長崎市市民協働推進室 TEL.095-829-1125

ながさき ダンカーズ 編集長 おすすめ

MOVIE



ペコロスの
母に会いに行く

子どもたちの笑い声がドッと沸きあがる。意外だった。映画の上映会場がこんなに沸く体験なんてもう何十年ぶりだろう。まして、認知症の母と息子との日常を描く映画だ。8月に長崎ブリックホールで映画「ペコロスの母に会いに行く」を見た。全国に先立ち行われた長崎完成披露上映会だ。ダンカーズ倶楽部の男女5人で連れ立って鑑賞した。平均年齢は66歳。隣席の彼は父親の介護で帰郷、今は術後の看護も加わり日々一人で戦っている。掃りがけ、いい映画だったよ。泣いたね。そんなことをボソッと言った。

母みつえさん、認知症がどんどん進行する場面はユーモラスでもあり、ここで子どもたちの笑い声上がる。残された家族にとって深刻な現実が重なる。私たちの世代はみな多かれ少なかれ同じような環境を背負っているんですね。

原作は、長崎市在住の漫画家・岡野雄一さん。映画は母親の認知症をきっかけに、母と息子が生きてきた時代を風が運んでくる。出番は少ないが加瀬亮演じるステコ父親がスゴイ。昔はこんな顔のおやじを近所でよく見かけた気がする。ともあれ、いい役者がそろい、長崎のペコロス映画が生まれた。

ながさき ダンカーズ通信

創刊2周年記念イベントを開催します。テーマは、「第二の人生」を楽しく豊かに! 団塊シニア世代だけでなく、これから定年を迎えられる方も一緒にご参加ください。フィナーレは、青春の歌をみんなで歌おう! (編集長)

台風と一緒に急に秋がやって来て、おくんち、運動会、音楽祭とダンカーズ也大忙し。畑仕事も待ってるし...。次は11月30日の『ダンフェスタ』だ! (O)

ようやく秋らしくなったが、今年の天候は異常? ですね。これからが出来るのに最高の季節、自然を楽しみ、食(日本酒も)と友に親しもう。(M)

後輩の知人から先日「昭和26年生まれば「団塊の世代」にならないんですか?」と聞かれたので「熱烈歓迎」と即答しました。そうですよね。(Y.I)

今年の流行語大賞は「じえじえじえ」「アベノミクス」「倍返し」「お・も・て・な・し」さてどれになるか? そのうち、「ダンカーズ」が大賞になるのを夢見て(N)

発行元

ながさきダンカーズについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

特定非営利活動法人 新現役の会長崎センター/長崎市 市民協働推進室

〒850-0022 長崎市馬町21-1 TEL.095-829-1125 注 ホッチキス針にご注意ください。

次回(第8号)は
2月発行予定です。